

# 大阪府大阪市立茨田北中学校

(様式 4-2 : 令和 3 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度  
実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称 : 第二学年 交通環境学習					
2. テーマ : 大阪シティバスの歴史と「茨田地域」における役割					
3. 実施教科 : 総合の時間					
4. 関連単元 : 社会科「地理分野」近畿地方・大阪府 「歴史分野」日本史 古代～					
5. 実施単元数 : 3時間					
6. 学年	第2学年	7. クラス数	5学級	8. 生徒数	200名
9. 実施内容 地域の歴史と発展を知り、郷土愛を高めるために、交通環境学習に取り組んだ。 自宅から学校への登校で、「なぜ学校周辺は河川が多く、道路が蛇行しているのだろう」という素朴な疑問から、地域の地理や歴史を学び、古代からの河川の氾濫が多く、湿地帯であったことや、これまでの人々の苦勞をはじめ、田畑から工業地、住宅地への発展の変遷などを学んだ。交通網として、大阪市バスが住民の足であり、地下鉄(大阪シティバス)の延伸で、ようやく便利になったことなど、交通網の発達と人口増加が関連していることを学習した。 資料による事前学習とともに、地域の講師を招き、住民の目からの歴史、地域の発展などを伺った。 生徒は熱心に講話に耳を傾け、地域の苦勞を学んだが、時間の関係で、当初予定した調べ学習のプレゼンテーションまで繋ぐことはできなかった。  資料による事前学習 1時間  全体講話 2時間					

10. 学習のながれ：

校長・教頭・首席・社会科教諭で鶴見区役所・大阪シティバスと連携し、これまでの資料を精査しながら、生徒配布用の資料づくりを校長が行った。

その資料をもとに、2学年で学級ごとに、担任による事前学習を実施し、その後、講師を招いて、映像による地域講話を開き、学習を深めた。

この学びをまとめ、プレゼンテーションを当初予定していたが、コロナ禍による学年行事の延期のため、時間が取れず、講話学習で終了した。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。